



# JAL不当解雇撤回ニュース

No477 号 2016.01.17  
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局  
連絡先: 航空労組連絡会事務局  
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4  
フェニックスビル内  
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819  
<http://www.jalkaikotekkai.co>

# 結成! JAL闘争を支える 北海道の会



1月8日、札幌市の北海道労働センターで、「不当解雇とたたかう日本航空労働者を支える北海道の会」(JAL闘争を支える北海道の会)の結成総会が開かれました。地元札幌で活動している労働組合や民主団体、弁護士など25名が参加しました。会の運営は、呼びかけ人となった田中千恵子さん(元日本医労連委員長)ら4名が中心となり、事務局は札幌地区労連内に置かれます。総会には乗員山口団長、客乗から石賀事務局次長が参加しました。これで支える会は全国で19ヶ所になり、支援の輪は更に広がっています。



【写真左から山口元道労連議長・田中元日本医労連委員長・佐藤元建交労委員長・山口乗員団長】

総会は争議経過報告に始まり、申し合わせの確認、争議団からの訴え、その後、参加者からの発言と続きました。

- \* 争議は財政面の支援が何よりも大切である。JALの闘いは労働者の尊厳を守る闘いだ。
- \* 日本には労基法が全く無視されている企業がある。みんなで変えていこう。
- \* 私たち国鉄の1047名の闘いも、支援組織があってこそ闘いが継続できた。
- \* 法廷闘争は目的ではなく手段だ。世論で攻めていく。これからが勝負だ。
- \* 多くの労働者が問答無用で首を斬られている。寒い中、原告団の座り込みの写真を見て、こんなに頑張っている、応援しなければという気持ちが強くなった。
- \* 客室乗務員の正社員採用が実現したばかり。北海道で支援組織ができて良かった。



## 市内18団体の事務所を訪問

結成総会に先立ち、原告団は佐藤さん(労働相談センター)、吉田さん(年金者組合)、竹田さん(建交労)の案内で、労働組合や民主団体、弁護士事務所など18カ所を訪れ、現状報告や日航が上告中の不当労働行為裁判の最高裁宛て団体署名の協力を呼びかけました。

訪問先の役員から「岡山県では原告が在住していないが、岡山駅前ではJAL不当解雇撤回の定例宣伝をしている。自分たちも何かしなくてはと思っていた。北海道に“JAL闘争を支える会”ができて良かった」と述べられました。

## 1994年お世話になりました！

契約制客室乗務員導入問題が起こった時、国会で追及してくださった元国会議員、現弁護士の高崎裕子さんと、再びお目にかかることができました。

あれから22年、今年4月からJALのCAは全員正社員です。



## “寒っ”

### 札幌駅前街頭宣伝

支援団体訪問の後、午後6時30分から30分間、氷点下の札幌駅前で行っている定例宣伝に参加しました。

この宣伝は「1の日宣伝」と言って、国鉄1047名の解雇事件を契機に26年前から行われているもので、当日も30名が参加しました。ただし、1月だけ日にちを変更して行なわれます。

## 「北海道の会」の申し合わせ事項

- (1) 「JAL闘争」のたたかひの意義や闘争局面を広く、労働者・道民に知ってもらう。  
そのために
  - ・原告団のホームページを見るよう呼びかける
  - ・Face Bookを活用して「いいね」で連帯を強化し拡大させる
  - ・「支える会」に加入して通信を読む
- (2) 原告団の財政を支え、闘いを広げるために「JAL闘争を支える会」の会員拡大、物販に協力する
- (3) 「国民支援共闘会議」のとりくみに基づき、宣伝行動を具体化する
- (4) 労働組合が取り組む「JAL闘争」支援のとりくみに積極的に取り組む



## JAL 不当解雇撤回原告団(争議団)より

「働く権利」と「空の安全」を守る闘いは6年目に入りました。この時期、北の大地に新たな「支える会」を発足していただき、改めて身の引きしまる思いです。

立ち上げにご尽力していただいた皆さま、本当にありがとうございました。

司法での闘いが終結した後も「不当な解雇を許さない」という多くの支援者の皆さまに支えられ、原告団は新たな情勢の中、“解雇撤回・職場復帰”を目指してまいります。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。